

2018年度
(第3四半期)

広貫堂グループ IR情報

株式会社 広貫堂

○ 事業の概況 (業績、事業運営等の概況)

(財務面)

売上面では、132億6,900万円となり前年同期比112.8%、計画比107.7%でした。
これは医薬品製造受託事業において、国内最大規模の顆粒剤製造移管事業が呉羽工場にて予定通りに進み、関連製剤の製造量が今年度に最大化した事、さらに新規受託品目の獲得やOTC製品を中心とした既存受託製品の受注も好調だった事が要因となります。

収益面では、9億4,700万円となり、前年同期比422.5%となりました。
これは上述した呉羽顆粒剤工場の本格稼働及び既存受託製品の受注増に伴い、生産効率が高まり、収益性が向上したためとなります。

(事業運営面)

引続き既存受託品目の高品質で安定的な供給、新規受託品目獲得に注力しております。

○ 課題への取組み

・更なる工場稼働率および収益性向上のため、積極的に医薬品製造受託事業の拡大に注力しております。

○ トピックス、適時情報

・2018年10月1日に設立致しました広貫堂H&F株式会社におきまして、総曲輪レガートスクエア内で展開しておりました「ナチュラルカフェ広貫堂」を、大幅な店舗改装を行いイタリア料理店「BARZER(バルツェル)」として2018年12月3日にリニューアルオープン致しました。

○ 業績の概況 (広貫堂・単体)(第3四半期、平成30年4月～平成30年12月) (千円)

	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
売上高	9,206,448	10,099,880	11,759,750	13,269,532
経常利益	-747,733	-338,555	224,139	947,025

広貫堂グループ

○ 連結経営成績に関する定性的情報

連結売上高は、146億7,300万円となり、前年同期比109.0%、計画比106.5%でした。

収益面では、9億8,100万円となり、前年同期比281.4%となりました。

増収増益の理由は単体における理由と同様となります。

引き続き、収益性増加のため、工場稼働率の向上、販管費のコストコントロールに取り組んで参ります。

○ 業績の概況(広貫堂グループ・連結)(第3四半期、平成30年4月～平成30年12月) (千円)

	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
売上高	11,677,827	12,232,422	13,468,509	14,673,991
経常利益	-829,958	-318,331	348,902	981,643

2018年度
(第3四半期)

広貫堂グループ IR情報

グループ各社

日本薬剤 株式会社

○ 事業の概況 (業績、事業運営等の概況)

(財務面)

売上高は41億6,600万円でした。

経常利益は-41万円でした。

(事業運営面)

ヘルスケア事業部では市場ニーズに応えた製品の開発を進めていきます。

○ トピックス、適時情報

新発売(4~12月)

医薬部外品 100mlドリンクリニューアル 1アイテム

医薬品 30ml葛根湯内服液 2アイテム、点眼薬 1アイテム

清涼飲料水 500mlペット飲料 2アイテム、50ml瓶飲料 1アイテム、65ml乳酸菌飲料 1アイテム

○ 業績の概況 (第3四半期、平成30年4月~平成30年12月)

(千円)

	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
売上高	4,361,423	4,244,653	4,327,881	4,165,912
経常利益	44,100	46,095	41,641	-408

広貫堂薬品販売 株式会社

○ 事業の概況 (事業運営、業績等の概況)

(財務面)

第3四半期は目標対比100%を達成し、利益は目標を大きく上まわり黒字で第3四半期を終えることができました。

これは上半期に続き「人件費の変動費化」「原価率の圧縮」等が行われた結果です。

(事業運営面)

通年を通して、自社ドリンクを中心に販売面で原価率の良い商品が売上の核を占めるようになりました。また次期管理職候補を養成すると同時に、現管理職の組織運用の流動化(兼任など)も行い組織を活性化させています。

○ トピックス、適時情報

平成30年10月23日第4回取締役会が開催されました。

新規取扱商品として「フォアリーゼ」を販売しました。

○ 業績の概況 (第3四半期、平成30年4月~平成30年12月)

(千円)

	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
売上高	1,241,787	1,155,960	1,083,347	1,079,496
経常利益	-95,074	-5,920	-24,870	12,874

2018年度
(第3四半期)

広貫堂グループ IR情報

グループ各社

トキワ広貫堂 株式会社

○ 事業の概況 (業績、事業運営等の概況)

(財務面)

第3四半期、昨年対比で減収減益となっています。要因としては、毎年行ってきたドリンク中心の粗利施策が徹底できず、回収に後れを生じたためです。販売トレンドの下落基調が止まらず、また経費負担面での大きさもあり、来期に向けて、「キャッシュレス化」「取引顧客のスリム化」など抜本的な改革を行います。

(事業運営面)

主力商品である「サンリキソZ5000」の拡売を行いました。

○ トピックス、適時情報

平成30年10月23日第3回取締役会が開催されました。

○ 業績の概況 (第3四半期、平成30年4月～平成30年12月)

(千円)

	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
売上高	163,132	162,807	160,151	117,196
経常利益	-4,364	-6,696	7,835	-17,230